



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東
 コード番号 6324 URL <http://www.hds.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 啓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 丸山 顕 (TEL) 03-5471-7810
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	52,274	31.9	14,185	49.3	14,565	57.6	9,167	53.9
30年3月期第3四半期	39,622	80.9	9,500	61.5	9,244	55.8	5,956	41.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 4,828百万円(△65.4%) 30年3月期第3四半期 13,945百万円(287.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	95.24	—
30年3月期第3四半期	65.03	—

(注) 平成30年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、平成30年3月期第3四半期連結財務諸表について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	132,583	105,097	76.0
30年3月期	133,190	103,324	74.8

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 100,744百万円 30年3月期 99,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
31年3月期	—	19.00	—		
31年3月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	23.3	16,100	27.8	16,500	34.9	10,600	31.5	110.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	96,315,400株	30年3月期	96,315,400株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	52,193株	30年3月期	52,193株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	96,263,207株	30年3月期3Q	91,597,107株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年12月31日まで）における当社グループの業績は、受注動向については中国における設備投資の手控えや、前年度の急激な受注増加の反動などにより大幅な調整が見られたものの、売上高は製造業における生産性向上や省力化などを目的とした設備投資が堅調であったことに加え、高水準の受注残高にも支えられたことから過去最高額となりました。

用途別の売上高につきましては、前年同期比で、自動車やスマートフォン、家電などの生産自動化に使用される産業用ロボット向けが増加したことに加え、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなどをはじめ主要用途全般が増加しました。また、前年度から推進しております設備投資や製造人員の増員が奏功し、生産能力が計画どおり増強されたことも増収の大きな要因となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比31.9%増加の522億74百万円となりました。

損益面につきましては、生産能力増強投資を実施したことにより減価償却費が増加したことに加え、製造部門をはじめとする人員増などにより製造費用や販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の増加による増益効果が上回り、営業利益は前年同期比49.3%増加の141億85百万円となりました。また、主に営業利益の増益に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期比53.9%増加の91億67百万円となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比35.7%増加の440億39百万円、メカトロニクス製品が前年同期比14.7%増加の82億35百万円で、売上高比率はそれぞれ、84.2%、15.8%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

産業用ロボット向けをはじめ、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなどの主要用途全般が増加し、売上高は前年同期比37.8%増加の354億15百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比34.9%増加の140億99百万円となりました。

(北米)

医療機器向け、半導体製造装置向け、工作機械向けを中心に需要が増加したことにより、売上高は前年同期比25.6%増加の49億88百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加による増益効果が上回り、前年同期比94.4%増加の10億42百万円となりました。

(欧州)

主に産業用ロボット向け、半導体製造装置向けの需要が増加したことなどから、売上高は前年同期比19.3%増加の118億71百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比230.4%増加の16億15百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて6億6百万円減少（前連結会計年度末比0.5%減）し、1,325億83百万円となりました。これは、設備投資の実行により有形固定資産が111億12百万円増加（前連結会計年度末比52.2%増）したことに加え、売上高の増加により受取手形及び売掛金が47億93百万円増加（前連結会計年度末比30.3%増）した一方で、設備投資により現金及び預金が91億23百万円減少（前連結会計年度末比31.0%減）したことや、保有する上場株式の時価変動により投資その他の資産が58億77百万円減少（前連結会計年度末比37.2%減）したことが主な要因です。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて23億79百万円減少（前連結会計年度末比8.0%減）し、274億86百万円となりました。これは、繰延税金負債が22億51百万円減少（前連結会計年度末比18.6%減）したことが主な要因です。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末比で17億72百万円増加（前連結会計年度末比1.7%増）し、1,050億97百万円となりました。これは、利益剰余金が59億91百万円増加（前連結会計年度末比11.5%増）した一方で、その他有価証券評価差額金が40億78百万円減少（前連結会計年度末比51.3%減）したことが主な要因です。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の74.8%から76.0%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年11月8日に発表しました「平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の数値に変更はありません。今後、変更が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,423,941	20,300,674
受取手形及び売掛金	15,816,588	20,609,790
有価証券	40,929	24,891
商品及び製品	1,196,363	1,733,351
仕掛品	2,927,793	2,771,179
原材料及び貯蔵品	2,363,942	3,148,564
その他	740,696	838,284
貸倒引当金	△11,037	△12,053
流動資産合計	52,499,217	49,414,683
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	9,430,427	13,885,381
その他(純額)	11,875,946	18,533,964
有形固定資産合計	21,306,373	32,419,345
無形固定資産		
のれん	13,153,263	12,293,326
ソフトウェア	286,474	315,957
顧客関係資産	23,691,533	22,142,624
技術資産	6,327,661	5,913,970
その他	123,313	158,483
無形固定資産合計	43,582,246	40,824,362
投資その他の資産		
投資有価証券	761,689	473,882
関係会社株式	13,571,462	8,003,822
退職給付に係る資産	1,047,271	1,074,389
繰延税金資産	267,729	196,634
その他	159,793	182,076
貸倒引当金	△5,600	△5,600
投資その他の資産合計	15,802,345	9,925,205
固定資産合計	80,690,966	83,168,914
資産合計	133,190,183	132,583,597

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,162,055	2,787,486
短期借入金	57,056	400,074
1年内返済予定の長期借入金	352,164	340,300
リース債務	48,785	53,160
未払法人税等	3,253,567	1,970,900
賞与引当金	1,433,246	1,041,668
役員賞与引当金	415,638	361,550
製品補償損失引当金	92,806	82,995
その他	4,364,706	6,130,362
流動負債合計	13,180,028	13,168,499
固定負債		
長期借入金	1,529,366	1,441,955
リース債務	181,379	168,026
繰延税金負債	12,079,324	9,827,740
役員退職慰労引当金	400,375	451,502
その他の引当金	91,877	99,191
退職給付に係る負債	907,720	864,400
その他	1,495,309	1,464,864
固定負債合計	16,685,352	14,317,680
負債合計	29,865,380	27,486,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,100,036	7,100,036
資本剰余金	30,225,361	30,225,361
利益剰余金	51,928,676	57,919,897
自己株式	△38,166	△38,166
株主資本合計	89,215,907	95,207,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,953,429	3,875,383
為替換算調整勘定	2,508,363	1,661,974
退職給付に係る調整累計額	△13,118	443
その他の包括利益累計額合計	10,448,675	5,537,802
新株予約権	625,511	625,511
非支配株主持分	3,034,708	3,726,975
純資産合計	103,324,802	105,097,417
負債純資産合計	133,190,183	132,583,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	39,622,090	52,274,868
売上原価	20,606,484	28,127,110
売上総利益	19,015,606	24,147,757
販売費及び一般管理費	9,515,526	9,962,060
営業利益	9,500,079	14,185,696
営業外収益		
受取利息	12,631	16,807
受取配当金	117,223	119,793
持分法による投資利益	24,187	12,245
為替差益	—	44,792
その他	139,188	256,686
営業外収益合計	293,230	450,325
営業外費用		
支払利息	22,249	13,829
売上割引	21,603	26,440
有価証券評価損	—	15,054
為替差損	462,996	—
その他	42,123	15,299
営業外費用合計	548,973	70,622
経常利益	9,244,336	14,565,399
特別利益		
固定資産売却益	2,182	18,049
補助金収入	100,000	160,410
特別利益合計	102,182	178,459
特別損失		
固定資産売却損	17	62,272
固定資産除却損	8,577	185,945
固定資産圧縮損	100,000	160,410
特別損失合計	108,594	408,628
税金等調整前四半期純利益	9,237,924	14,335,231
法人税、住民税及び事業税	3,735,468	4,629,323
法人税等調整額	△576,982	△195,162
法人税等合計	3,158,486	4,434,160
四半期純利益	6,079,438	9,901,071
非支配株主に帰属する四半期純利益	123,077	733,164
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,956,360	9,167,906

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	6,079,438	9,901,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,257,228	△4,078,045
為替換算調整勘定	4,630,361	△1,010,053
退職給付に係る調整額	△21,845	15,173
その他の包括利益合計	7,865,744	△5,072,926
四半期包括利益	13,945,182	4,828,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,122,324	4,257,034
非支配株主に係る四半期包括利益	822,858	571,110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,698,755	3,970,044	9,953,290	39,622,090	—	39,622,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,076,146	20,151	71,848	3,168,146	△3,168,146	—
計	28,774,902	3,990,196	10,025,139	42,790,237	△3,168,146	39,622,090
セグメント利益	10,450,094	536,555	488,967	11,475,617	△2,231,281	9,244,336

- (注) 1. セグメント利益の調整額△2,231,281千円には、セグメント間取引消去△1,151,217千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,080,063千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 「欧州」は、持分法適用会社で構成されておりましたハーモニック・ドライブ・アークが平成29年3月22日付で連結子会社となったため、第1四半期連結会計期間から同社に係る売上高及び利益を記載しております。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
5. セグメント利益は、平成30年3月期末に企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しを反映させております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,415,215	4,988,144	11,871,507	52,274,868	—	52,274,868
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,019,154	28,843	225,205	4,273,204	△4,273,204	—
計	39,434,370	5,016,988	12,096,713	56,548,072	△4,273,204	52,274,868
セグメント利益	14,099,864	1,042,940	1,615,578	16,758,383	△2,192,983	14,565,399

- (注) 1. セグメント利益の調整額△2,192,983千円には、セグメント間取引消去△884,857千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,308,126千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年12月31日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	35,021,614	44.9
	メカトロニクス製品	4,987,225	17.3
北米	減速装置	2,216,586	25.4
	メカトロニクス製品	1,164,341	29.2
欧州	減速装置	7,549,700	23.9
	メカトロニクス製品	2,180,854	8.9
合 計		53,120,323	35.6

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年12月31日）における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	17,311,026	△57.0	14,738,841	△44.7
	メカトロニクス製品	2,565,534	△34.2	843,203	△53.0
北米	減速装置	3,586,156	6.2	2,912,856	46.6
	メカトロニクス製品	2,090,479	△9.2	1,436,782	15.4
欧州	減速装置	9,076,152	△2.0	4,237,567	2.1
	メカトロニクス製品	3,701,683	8.7	2,304,878	36.0
合 計		38,331,033	△38.7	26,474,129	△29.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。
 6. 受注残高は、当第3四半期累計期間において日本セグメントを中心に発生した前四半期以前の受注分に係る3,429,969千円の受注取り消し額を差し引いております。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高（千円）	前年同期比（％）
日本	減速装置	31,801,740	41.3
	メカトロニクス製品	3,359,426	8.1
北米	減速装置	3,076,787	25.6
	メカトロニクス製品	1,940,201	26.0
欧州	減速装置	9,160,490	22.2
	メカトロニクス製品	2,936,223	16.0
合 計		52,274,868	31.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

(2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日）における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	11,871,507	4,988,144	5,795,462	22,655,114
II 連結売上高(千円)	—	—	—	52,274,868
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（％）	22.7	9.5	11.1	43.3

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州……ドイツ
 (2) 北米……米国
 (3) その他の地域……中国、韓国、台湾、オセアニア
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。